

カリキュラム

機構施設名： 山口職業能力開発促進センター
実施機関名： 株式会社創研

(A)生産管理	生産現場の問題解決
生産・開発計画	

コースのねらい	生産管理を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識、技能を習得する。
---------	--------------------------------------

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	生産活動の基本	(1)生産活動の基本(モノづくりの環境の変化)[講義] ①顧客ニーズの多様化と持続可能な企業経営 ②多品種少量短納期と消費が縮む中でのモノづくりのしくみ ③QDCと整理整頓の5S ・品質 ・納期 ・コスト (2)納期とリードタイムの短縮化[ミニワーク] ①アウトプット(ゴール)から逆算する ②時間を短い時間の時間割りで進捗管理 ③【演習】アウトプットから逆算して行動を変える ・研修レポートの同時並行化	6.0
	2	現状分析とムダの発見	(1)生産現場の問題とは[演習] トヨタ自動車グループの問題解決8ステップ ①三現主義(現場・現物・現実) ②【事前宿題1枚の写真】現場の問題を1枚の写真で表現する ③事実と意見感想を区別する難しさを演習で学ぶ (2)ムダの問題を的確に表現するスキル 問題は箇条書きで3行以内で表現する。 ①事実を的確に表現する ②数値化できるものは数字で表現する ③カタカナや4文字熟語で問題を抽象化しない (3)ムダの発見(問題を△図で図解化する) ①△図3C図解で現場の問題を表現する ②問題の視点が変わる(顧客の視点、競合との視点) ③ムラ(ムダとムリ)に経営視点で気が付く	
	3	生産現場の改善	(1)4Mで問題を構造化する改善ステップを理解する[演習] ①【グループ討議】メンバーの取り上げた問題を構造化する ②4M視点でなぜなぜ分析 ③創造的な思考技術とVEの法則で機能を考える ④1シートで改善演習のまとめと質疑応答	

カリキュラム作成のポイント
演習時間は延べ3.0hの参画スタイルの研修を実施。 受講者の仕事の問題を1枚の写真で持ち寄ります。※持ち出し可能な画像のみ 実際の写真をもとに、仕事の問題を3現主義の演習で分析する。 問題と課題が混在して的確な問題表現ができないことが多いため、あえて写真(現実)の問題を具体的に活かした演習を実施する。

講師から一言 (リーフレット掲載用 50～70字程度)
可能であれば現場の問題(課題)の写真を1枚準備してください。 トヨタ自動車グループの「トヨタ問題解決8ステップ」と「A3サイズの1シート会議資料」の手法をもとに、中堅小規模の製造現場で実践できるスキルを具体的に演習で学びます。